

「戦争を取材する」(中2)の授業について

1 はじめに

表題の授業をするということで相談を受けました。「道徳の読み物資料では主人公の心情を読み取るのではなく、資料から道徳的価値について考える。」ということをもとに授業展開を考えました。1時間の授業で出す発問は次の通りとしました。

<読み物資料>

内容の理解を深める補助発問を2～3つ

資料から道徳的価値について考える発問を1つ

<生活の振り返り>

読み物資料を踏まえて生活の振り返りから道徳的価値を考える発問を1つ

本教材では、生活の振り返りから道徳的価値を考えることは難しいと思います。

それに代わる発問(自分に引き寄せて考える発問)を考えました。

2 授業展開

- (1) 教材名 戦争を取材する / (2) 主題名 真実を追い求める
(3) 内容項目 A-(5) 真理の探究、創造
(4) ねらい 真理や真実を求めることでよりよい社会が実現されることを理解し、理想の現実をめざして、よりよく生きようとする実践的意欲を育てる。

(1)～(4)は指導書より

(5) 授業展開

<導入>

質問 世界のどこかでは今も戦争があると思いますか。

「戦争」や「紛争地」と聞いてどんな状況を思い浮かべますか。

→ ペアで交流する。全体で交流する。(短時間で行う)

<資料からの発問>

発問1 「山本美香さんは戦場特派員として、どんな仕事をしていましたか。」

→ ペアで交流する。全体で交流する。

※ p50 42～44 紛争地や被災地について、女性や子どもなど、弱い立場の人々の様子をビデオで取材し、世界に伝えていた。

発問2 p51 45 医師の活躍を見て、山本さんが自分をちっぽけな存在だと感じたのはなぜですか。

→ ペアで交流する。全体で交流する。

発問3 山本さんが厳しい紛争地帯で仕事を続けたのは、どんな思いからでしょうか？

p51 47～p52 47 子どもを亡くした避難民の父親から感謝の言葉を投げかけら、自分の仕事に意味を見つけた。たったいま目撃した出来事を世界中の人々に知らせなければならないという思い。

p52 420～p53 41 ジャーナリス は彼らの存在を世界に伝えることで、どうしたら救うことができるか、考えるきっかけをつくっていく。そのことで少しずつ、でも確実に平和な世界が広がっていくと信じている。

→ 班で解決する。各自が道徳ノートの「考えてみよう」に自分の言葉で書く。

→ 全体で交流する。

<自分に引き寄せて考える発問>

発問4 平和な世界の実現のために大切なことは何だと思いますか。

- 班で交流してから、道徳ノー “自分に+1”に書く。
- 全体で交流する。

3 おわりに

「本当に全員が取り組んでいるか」というのが最近の私のテーマです。自分の考えを書くとき、課題(発問)の内容は理解できているが、何を書いていいのかよく分からないという生徒がときどきいます。これを解決するために、班で交流してから書いたり、班で解決してから自分の言葉で書いたりしてはどうかと考えています。

ぜひ、実践していただき、成果と課題を共有したいものです。